

尼北だより



尼崎市立尼崎北小学校

校長 都倉 功 充

大声出して、全力出して、 フレー！フレー！尼北っ子

新緑の季節から初夏の気配を感じられる頃となってきました。南校舎1階にある豆カウンターの飾りも、「端午の節句で兜をかぶったとまめくん」から「てるてる坊主をバックに紫陽花の中でレインコートを着たとまめくん」に変わりました。毎月、尼崎北小学校応援ボランティア本部の皆さんが活動していただき、全校みんなも毎回楽しみにしています。そんななか、子どもたちは、本格的な梅雨を迎える前に、曇り空をはね飛ばし、元気いっぱい体育大会の練習に取り組んでいます。朝早くは、体育館から応援団の人たちの大きな声が聞こえてきます。団長を中心に、団員みんなが声をからして練習しています。授業が始まったら、各学年の練習の中で、「ヤー！」「ソーレ！」と声が聞こえてきます。応援の歌になったら、子どもたちの声は最高潮に達します。運動場でも、割れんばかりの声が響き渡ります。

スポーツと大きな声は、大きく関係しています。オリンピックを観ていても、選手が瞬間的に、「アー！」「ゲー！」などと声を出したり、うまくいったときに、「サー！」「シャー！」などと叫んだりしています。これは、「シャウティング効果」あるいは「シャウト効果」といって、筋力がアップされることが研究で明らかになっています。さらに、気持ちが高揚し、集中力が増すとも言われています。大きな声を出すことの効果として、実際の子どもの様子からも次のような効果が伺えます。

- ◇やる気と集中力がアップする。
- ◇応援の声で勇気づけられ、仲間意識も大きくなる。
- ◇力を出し切った充実感を得られる。
- ◇同時に出すことで一体感が生まれる。

ただし、常時大きな声を出しているわけではありません。静かな中で素早く移動したり、歯を食いしばり耐えたりすることもあります。特に6年生の組体操「心を1つに」では、その姿をご覧ください。上に立ってポーズを決める子どもも素晴らしいですが、その下で痛みを我慢している子どもも最高だと思います。

体育大会では、子どもたちが全力を出している姿を楽しみにしてください。そして、精一杯の応援や励ましをよろしく願いいたします。

定時退校日のお知らせ

教職員の長時間勤務が問題になったり、働き方改革という言葉が話題になったりしています。兵庫県教育委員会並びに尼崎市教育委員会からの指導もあり、教職員が心身ともに健康で、子どもたちと向き合う時間をできるだけ確保し、心の通い合う学校づくりを推進しています。本校では、週に一回、時間を決めてできるだけ早めに退勤する日を設定しています。もちろん、子どもたちのために重要なことや緊急な場合は、この限りではありませんが、保護者の皆様や地域の方々にもご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

- ◇毎週木曜日
- ◇17時30分退勤